

岐阜労働局では全国安全週間の取組の一つとして、千葉労働局長による安全パトロールを、7月5日に関市のカイインダストリーズ株式会社に実施しました。

局長挨拶の後、会社側から事業の概要、安全活動について説明を受けました。

カイインダストリーズでは、機械へのはさまれ・巻き込まれ災害や転倒災害防止のほか、刃物を扱うため切創災害が発生しやすいことから、切傷災害対策に重点をおいていること、研修ビデオ等により「貝印安全十箇条」などを教育していることなどの説明がありました。



パトロールでは、工場内の製造工程は自動化されているものの、機械トラブル発生時にはその対応などの非定常作業時に稼働部分への接触や製品の目視検査時に刃先に手が触れることによる災害発生リスクがあり、それらの災害防止対策についての説明を受けました。

説明を受ける千葉局長（左から2人目）



説明を受ける千葉局長（右から2人目）



パトロール後、局長から講評として、本年の岐阜県内における労働災害は全体としては減少しているものの、製造業は増加しており、とりわけ、金属製品製造業では倍増となっていること、製造業では転倒災害、機械へのはさまれ・巻き込まれ災害が多く発生しているため、カイインダストリーズではこれらの対策に加え、刃物の刃先に触れることによる切創災害発生リスクが高いことから、ここにも重点を置いた取組がされていることがわかったことが述べられました。

最後に、引き続き災害防止に取り組んでいただき、県下企業の模範となっただくこと、今回のパトロールで県内の産業安全意識が高まることを期待すると述べて、パトロールを終了しました。